

令和4年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	II - 1	指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	区分		令和4年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)																																																																																																																																																																											
					財政健全化等	×	歳入総額	27,563,627	26,318,915	実収支比率	10.1	7.3																																																																																																																																																																													
市町村名	八街市		地方交付税種地	2-4	財源超過	×	歳出総額	26,052,979	24,948,283	経常収支比率	94.8	92.1	(96.8)	(96.9)																																																																																																																																																																											
					首都	×	歳入歳出差引	1,510,648	1,370,632	(※1)																																																																																																																																																																															
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	97,717	325,334	標準財政規模	14,007,914	14,300,239																																																																																																																																																																													
					中部	×	実収支	1,412,931	1,045,298	財政力指数	0.64	0.65																																																																																																																																																																													
人口	令和2年国調(人)	67,455	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	367,633	-11,907	公債費負担比率	11.1	11.8																																																																																																																																																																													
	平成27年国調(人)	70,734			山振	×	積立金	52	15	健全化判断比率																																																																																																																																																																															
	増減率(%)	-4.6			低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																													
住民基本台帳人口(※7)	令和05.01.01(人)	67,396	第1次	令和2年国調	2,459	平成27年国調	2,811	低開発	×	積立金取崩し額	447,762	159,684	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																																										
	うち日本人(人)	64,318						指数表選定	○	実質単年度収支	-80,077	-171,576	実質公債費比率	6.6	6.5																																																																																																																																																																										
	令和04.01.01(人)	67,739	第2次		7.8		8.1			基準財政収入額	7,347,518	7,151,870	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																																												
	うち日本人(人)	65,231				8,056		8,979			基準財政需要額	11,858,521	11,531,690																																																																																																																																																																												
	増減率(%)	-0.5				25.6		25.8			標準税収入額等	9,202,628	8,944,778																																																																																																																																																																												
	うち日本人(%)	-1.4	第3次			20,922		22,989			経常経費充当一般財源等	13,518,624	13,234,079																																																																																																																																																																												
面積(km ²)	74.94				66.6		66.1			歳入一般財源等	17,109,769	16,080,636																																																																																																																																																																													
人口密度(人/km ²)	900																																																																																																																																																																																								
世帯数(世帯)	27,942																																																																																																																																																																																								
職員の状況(※8)																																																																																																																																																																																									
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	18,839,413	18,027,412																																																																																																																																																																														
	市区町村長	1	8,300	一般職員等(※6)	一般職員	482	1,516,372	3,146	うち公的資金	12,417,965	13,105,888																																																																																																																																																																														
	副市区町村長	1	6,900		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	9,219,711	7,751,404																																																																																																																																																																														
	教育長	1	6,500		うち技能労務職員	10	27,540	2,754	債務負担行為額(支出予定額)	4,502,865	4,847,401																																																																																																																																																																														
	議会議長	1	4,450		教育公務員	21	69,654	3,317	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																																														
	議会副議長	1	4,000		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																																														
	議会議員	18	3,550		合計	503	1,586,026	3,153	財政調整基金	2,332,702	2,180,412																																																																																																																																																																														
						ラスパレス指数			99.6	積立金現在高	122,542	122,536																																																																																																																																																																													
										減債基金	300,694	235,530																																																																																																																																																																													
										その他特定目的基金																																																																																																																																																																															
<table border="0"> <tr> <td>一般会計等の一覧</td> <td>事業会計の一覧</td> <td>公営企業(法適)の一覧</td> <td>公営企業(法非適)の一覧</td> <td>関係する一部事務組合等一覧</td> <td>地方公社・第三セクター等一覧</td> </tr> <tr> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>会計名</td> <td>項番</td> <td>組合等名</td> <td>項番</td> <td>団体名</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(※3)</td> </tr> <tr> <td>(1) 一般会計</td> <td></td> <td>(2) 国民健康保険特別会計</td> <td></td> <td>(5) 水道事業会計</td> <td></td> <td>(7) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3) 後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td>(6) 下水道事業会計</td> <td></td> <td>(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4) 介護保険特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13) 印旛広域市町村圏事務組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14) 印旛広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15) 印旛衛生施設管理組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16) 佐倉市八街市酒々井町消防組合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>															一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)	(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業会計		(7) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)											(3) 後期高齢者医療特別会計		(6) 下水道事業会計		(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)											(4) 介護保険特別会計				(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)															(10) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)															(11) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)															(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)															(13) 印旛広域市町村圏事務組合(一般会計)															(14) 印旛広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業)															(15) 印旛衛生施設管理組合															(16) 佐倉市八街市酒々井町消防組合								
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧																																																																																																																																																																																				
項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名							(※3)																																																																																																																																																																											
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) 水道事業会計		(7) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																			
		(3) 後期高齢者医療特別会計		(6) 下水道事業会計		(8) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)																																																																																																																																																																																			
		(4) 介護保険特別会計				(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)																																																																																																																																																																																			
						(10) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)																																																																																																																																																																																			
						(11) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)																																																																																																																																																																																			
						(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)																																																																																																																																																																																			
						(13) 印旛広域市町村圏事務組合(一般会計)																																																																																																																																																																																			
						(14) 印旛広域市町村圏事務組合(水道用水供給事業)																																																																																																																																																																																			
						(15) 印旛衛生施設管理組合																																																																																																																																																																																			
						(16) 佐倉市八街市酒々井町消防組合																																																																																																																																																																																			

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補償債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)					歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
地方税	7,483,909	27.2	7,359,585	52.7	普通税	7,359,585	98.3	-	議会費	197,844	0.8	-	197,844	
地方譲与税	178,919	0.6	178,919	1.3	法定普通税	7,359,585	98.3	-	総務費	2,126,434	8.2	137,038	1,679,832	
利子割交付金	4,955	0.0	4,955	0.0	市町村民税	3,499,391	46.8	-	民生費	11,060,816	42.5	98,177	5,265,849	
配当割交付金	49,893	0.2	49,893	0.4	個人均等割	123,728	1.7	-	衛生費	4,292,093	16.5	1,746,033	1,927,795	
株式等譲渡所得割交付金	39,666	0.1	39,666	0.3	所得割	3,047,492	40.7	-	労働費	-	-	-	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	178,499	2.4	-	農林水産業費	273,225	1.0	14,951	227,215	
地方消費税交付金	1,579,203	5.7	1,579,203	11.3	法人税割	149,672	2.0	-	商工費	359,829	1.4	-	321,210	
ゴルフ場利用税交付金	24,519	0.1	24,519	0.2	固定資産税	2,917,946	39.0	-	土木費	1,717,008	6.6	1,028,768	837,422	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	2,914,094	38.9	-	消防費	1,306,365	5.0	-	1,292,986	
自動車取得税交付金	595	0.0	595	0.0	軽自動車税	256,182	3.4	-	教育費	2,816,134	10.8	599,784	1,945,801	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	686,066	9.2	-	災害復旧費	-	-	-	-	
自動車税環境性能割交付金	26,888	0.1	26,888	0.2	鉱産税	-	-	-	公債費	1,903,231	7.3	-	1,903,231	
法人事業税交付金	96,014	0.3	96,014	0.7	特別土地保有税	-	-	-	諸支出金	-	-	-	-	
地方特例交付金等	46,534	0.2	46,534	0.3	法定外普通税	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	
個人住民税減収補填特例交付金	43,932	0.2	43,932	0.3	目的税	124,324	1.7	-	歳出合計	26,052,979	100.0	3,636,851	15,599,185	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	2,602	0.0	2,602	0.0	法定目的税	124,324	1.7	-						
地方交付税	4,774,311	17.3	4,511,003	32.3	入湯税	-	-	-						
普通交付税	4,511,003	16.4	4,511,003	32.3	事業所税	-	-	-						
特別交付税	263,219	1.0	-	-	都市計画税	124,324	1.7	-						
震災復興特別交付税	89	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-						
(一般財源計)	14,305,406	51.9	13,917,774	99.6	法定外目的税	-	-	-						
交通安全対策特別交付金	5,687	0.0	5,687	0.0	旧法による税	-	-	-						
分担金・負担金	23,952	0.1	145	0.0	合計	7,483,909	100.0	-						
使用料	179,589	0.7	27,749	0.2										
手数料	144,154	0.5	-	-										
国庫支出金	6,619,475	24.0	-	-										
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-										
都道府県支出金	1,620,041	5.9	-	-										
財産収入	16,218	0.1	12,326	0.1										
寄附金	70,963	0.3	-	-										
繰入金	563,236	2.0	-	-										
繰越金	770,632	2.8	-	-										
諸収入	584,474	2.1	6,041	0.0										
地方債	2,659,800	9.6	-	-										
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-										
うち臨時財政対策債	294,200	1.1	-	-										
歳入合計	27,563,627	100.0	13,969,722	100.0										

区分		令和4年度		令和3年度	
徴収率	現・計	97.9	90.3	97.7	88.8
(%)	年	97.6	90.7	97.6	89.8
		98.1	88.4	97.6	86.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,765,374	実質収支	90,785
下水道	252,356	再差引収支	72,416
上水道	180,531	加入世帯数(世帯)	11,788
工業用水道	-	被保険者数(人)	18,347
交通	-	被保険者	100
国民健康保険	640,087	1人当り	国庫支出金
その他	1,692,400		保険給付費
			326

目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
議会費	197,844	0.8	-	197,844
総務費	2,126,434	8.2	137,038	1,679,832
民生費	11,060,816	42.5	98,177	5,265,849
衛生費	4,292,093	16.5	1,746,033	1,927,795
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	273,225	1.0	14,951	227,215
商工費	359,829	1.4	-	321,210
土木費	1,717,008	6.6	1,028,768	837,422
消防費	1,306,365	5.0	-	1,292,986
教育費	2,816,134	10.8	599,784	1,945,801
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	1,903,231	7.3	-	1,903,231
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	26,052,979	100.0	3,636,851	15,599,185

性別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	12,806,005	49.2	7,708,934	7,637,929	53.5
人件費	4,280,628	16.4	3,967,488	3,950,462	27.7
うち職員給	3,051,052	11.7	2,770,329	-	-
扶助費	6,622,146	25.4	1,838,215	1,784,236	12.5
公債費	1,903,231	7.3	1,903,231	1,903,231	13.3
元利償還金	1,903,230	7.3	1,903,230	1,903,230	13.3
うち元金	1,847,799	7.1	1,847,799	1,847,799	13.0
うち利子	55,431	0.2	55,431	55,431	0.4
一時借入金利子	1	0.0	1	1	0.0
その他の経費	9,610,123	36.9	7,435,918	5,880,695	41.2
物件費	4,078,273	15.7	2,900,425	2,517,123	17.6
維持補修費	96,101	0.4	69,859	69,859	0.5
補助費等	2,930,917	11.2	2,609,080	1,530,789	10.7
うち一部事務組合負担金	1,335,946	5.1	1,335,946	1,227,463	8.6
繰出金	2,332,487	9.0	1,792,762	1,762,924	12.4
積立金	133,001	0.5	63,348	-	-
投資・出資金・貸付金	39,344	0.2	444	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	3,636,851	14.0	454,333	-	-
うち人件費	119,503	0.5	117,160	-	-
普通建設事業費	3,636,851	14.0	454,333	-	-
うち補助	1,830,806	7.0	60,577	-	-
うち単独	1,794,141	6.9	392,452	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	26,052,979	100.0	15,599,185	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 歳入, 歳出, 形式収支, 実質収支, 他会計等からの繰入金, 地方債現在高, 備考. Rows include 一般会計 and a total row.

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 会計名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 資金不足比率, 備考. Rows include various public utility accounts and a total row.

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

Table with columns: 一部事務組合等名, 総収益(歳入), 総費用(歳出), 純損益(形式収支), 資金剰余額/不足額(実質収支), 他会計等からの繰入金, 企業債(地方債)現在高, 左のうち一般会計等繰入見込額, 備考. Rows include various regional cooperation organizations.

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

Table with columns: 地方公社・第三セクター等名, 経常損益, 純資産又は正味財産, 当該団体からの出資金, 当該団体からの補助金, 当該団体からの貸付金, 当該団体からの債務保証に係る債務残高, 当該団体からの損失補償に係る債務残高, 一般会計等負担見込額, 備考. Rows include various public corporations and third sectors.

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。
※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

Table showing public debt fee burden status with columns for district, fiscal year, and ratio. Includes sub-tables for interest-bearing debt and debt service.

将来負担の状況

Table showing future debt burden status with columns for district, fiscal year, and ratio. Includes sub-tables for future debt and debt service.

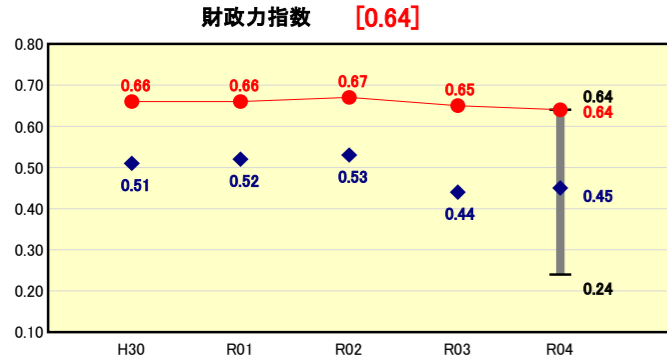
(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	67,396	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	64,318	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.94	km ²	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	27,563,627	千円	将来負担比率	34.5	%
歳出総額	26,052,979	千円	市町村類型	H30 II-1 R01 II-1 R02 II-1	
実質収支	1,412,931	千円	(年度毎)	R03 II-1 R04 II-1	
標準財政規模	14,007,914	千円			
地方債現在高	18,839,413	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレズ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

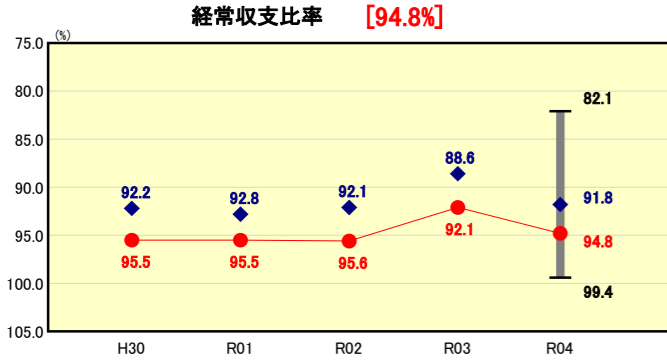
財政力



類似団体内順位 1/46 全国平均 0.49 千葉県平均 0.70

財政力指数の分析欄
 本市の基幹産業は農業であり、また、新たな財源を確保することが出来ない状況であるため、財政基盤が弱く、交付税に依存する状況が続いている。令和2年度までの過去5年で若干の改善が見られたが、普通交付税における需要科目の増加により、令和3年度以降は悪化している。国の税収が伸びていることから、しばらくはこの状況は続くと思われる。

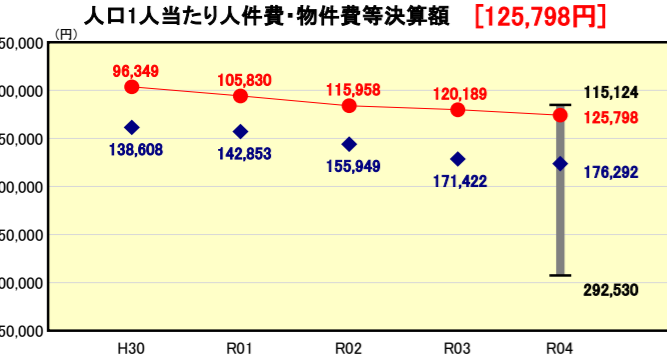
財政構造の弾力性



類似団体内順位 32/46 全国平均 92.2 千葉県平均 92.7

経常収支比率の分析欄
 令和3年度に地方交付税およびその他交付金の一般財源収入が増えたことから大きく数値が下がったが、扶助費や人件費の伸びにより令和4年度は上昇した。これら義務的経費の伸びは深刻な状況であり、来年度以降再度数値の上昇が予測される。長期的にも公債費の増や税収の減少など悪化する要因が見込まれ、歳出面において抜本的な改善を図る必要がある。

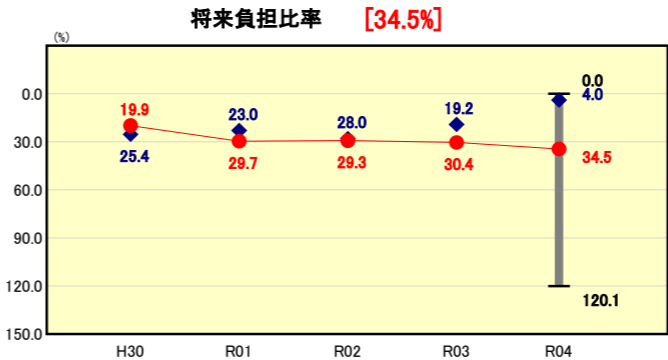
人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 4/46 全国平均 160,081 千葉県平均 146,417

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体の平均値よりは下回っているが、連続して増加傾向にある。これは人口減少の要因もあるが、再任用職員・会計年度任用職員の人件費が増加していることも要因である。今後は定員の適正化等により、歳出削減に努めていく必要がある。

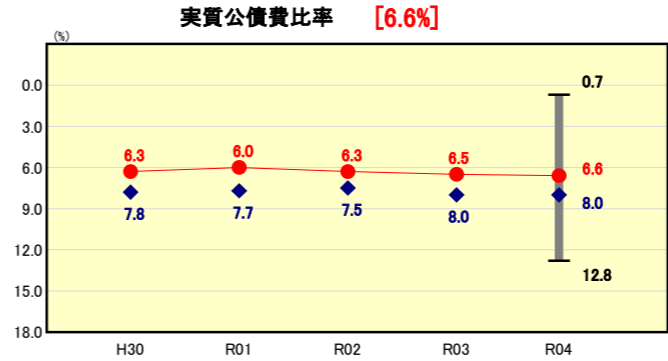
将来負担の状況



類似団体内順位 33/46 全国平均 8.8 千葉県平均 23.4

将来負担比率の分析欄
 令和元年度に増加に転じ、類似団体の平均を上回った。令和3年度は北総中央用水建設費負担金に関する債務負担行為の発生により、令和4年度もクリーンセンター基幹改良工事による大幅な借入により、数値が上昇した。令和5年度も同工事が続くことから上昇することが予想される。地方債残高については、臨時財政対策債の借入額が今後減少することから減少が予想され、徐々に下がっていくと思われる。

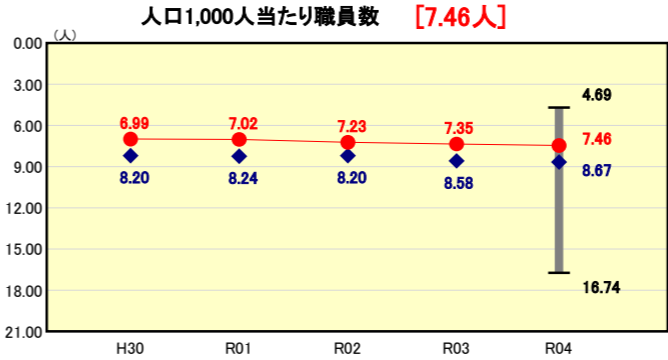
公債費負担の状況



類似団体内順位 11/46 全国平均 5.5 千葉県平均 5.6

実質公債費比率の分析欄
 令和2年度より増加傾向が続いている。令和2年度は小中学校空調設備整備事業により、令和3年度、令和4年度はクリーンセンター基幹改良事業により増加しており、事業完了の令和5年度までは増加傾向が続く。

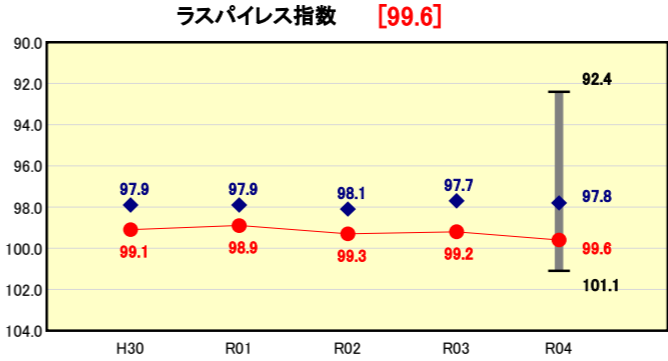
定員管理の状況



類似団体内順位 12/46 全国平均 8.25 千葉県平均 7.46

人口1,000人当たり職員数の分析欄
 類似団体平均、千葉県平均をともに下回っているが、過去5年間で増加傾向が続いている。これまで本市の定員管理は、目標を設定し職員数を着実に減らしてきた。その結果、現在の職員数はほぼ適正な規模となっているものと考えられる。現在の計画では、令和2年度4月1日現在の職員数544人を基準として、現状の職員数を維持していくことを基本としている。一方で人口減少の影響が想定されることから、この数値は、今後も徐々に増加していくことが予想される。

給与水準 (国との比較)



類似団体内順位 40/46 全国市平均 98.7 全国町村平均 96.3

ラスパイレズ指数の分析欄
 給与水準は人事院勧告に従って上下しており、類似団体の平均を若干上回る数値で推移している。ただ、千葉県内の他市と比較するとかなり低い水準となっている。今後も国の動向を注視し、給与の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

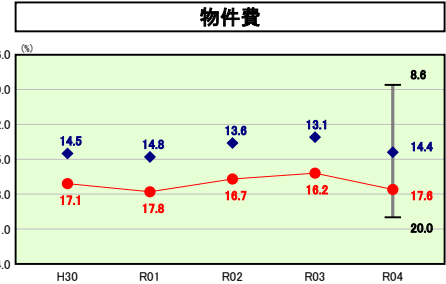
千葉県八街市

経常収支比率の分析

人口	67,396	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	64,318	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	74.94	km ²	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	27,563,627	千円	将来負担比率	34.5	%
歳出総額	26,052,979	千円	市町村類型	H30 II-1 R01 II-1 R02 II-1	
実質収支	1,412,931	千円	(年度毎)	R03 II-1 R04 II-1	
標準財政規模	14,007,914	千円			
地方債現在高	18,839,413	千円			

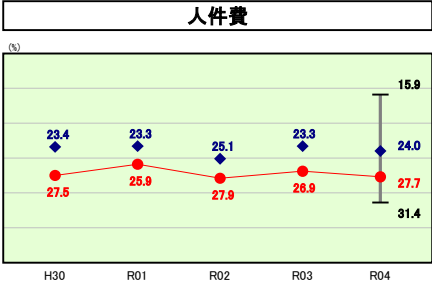


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



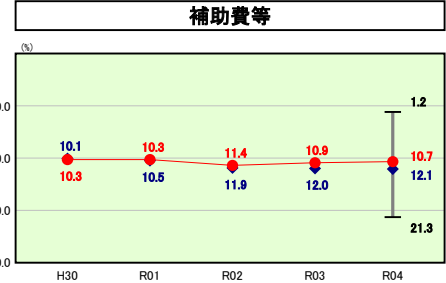
類似団体内順位 41/46 全国平均 14.9 千葉県平均 18.3

物件費の分析欄
 物件費は類似団体よりも大きい水準が続いている。令和2年度に大きく減少しているのは、非常勤職員の賃金が会計年度任用職員人件費へ振り替わったことによる。令和3年度は物件費自体は若干の増加となったが、やはり分母である経常一般財源の金額の増加により数値としては減少している。令和4年度は光熱費及び燃料費の増加、電算関連経費の増加により増加となっている。この傾向は今後も続くと思われる。



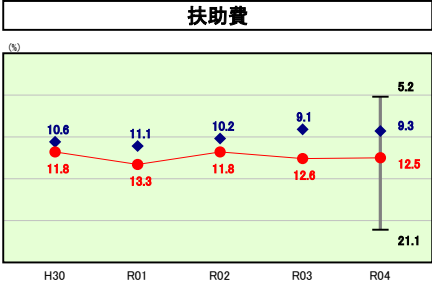
類似団体内順位 37/46 全国平均 25.9 千葉県平均 27.8

人件費の分析欄
 類似団体と比べ高い傾向にある。令和元年度は職員給与等が増加したものの、市町村職員退職手当負担金が減少した事により減少した。令和2年度は物件費の賃金として計上されていた分が上乗せされた為、増加となり、また令和3年度は、人件費自体は若干増加したが、分母である経常一般財源の金額が増加したため減少となっている。令和4年度は再任用職員・会計年度任用職員人件費の増加による上昇であり、今後もこの傾向は続くと思われる。



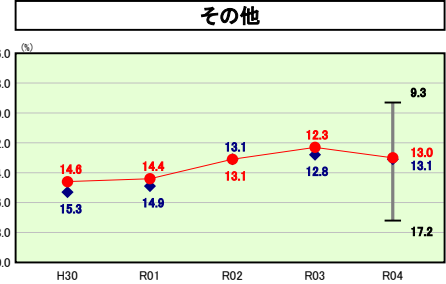
類似団体内順位 19/46 全国平均 10.5 千葉県平均 8.4

補助費等の分析欄
 類似団体平均とほぼ同水準で推移しているが、類似団体平均が増加傾向にあることから、差が開きつつある。令和2年度は下水道事業が法適化したことから、数値が増加したが、令和3年度は分母である経常一般財源の金額が増加したため、令和4年度は公営企業及び一部事務組合への負担金が一時的に減少したことから、減少となっている。一部事務組合や公営企業会計への負担金の影響を大きく受ける数値であり、当市の都合だけで減少さ



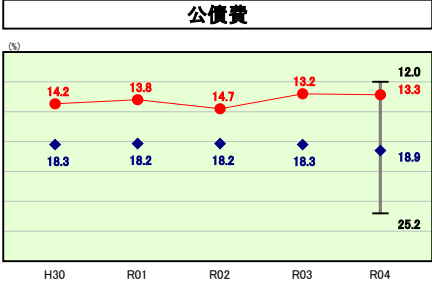
類似団体内順位 45/46 全国平均 12.5 千葉県平均 12.5

扶助費の分析欄
 類似団体と比較して高い傾向にある。コロナ渦による影響で令和2年度には減少傾向が見られたが、令和3年度以降は、再度増加傾向にある。令和4年度は臨時特別給付金事業費の減少に伴わずかな減少であり、今後は再度増加が続くと思われる。



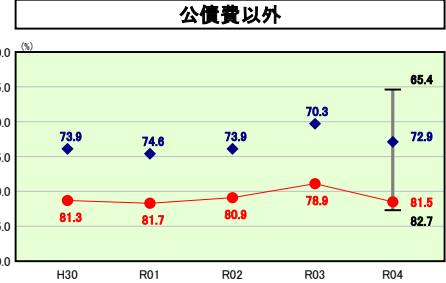
類似団体内順位 21/46 全国平均 12.4 千葉県平均 12.0

その他の分析欄
 維持補修費及び特別会計への繰出金が計上されている。令和2年度に減少したのは下水道事業が法適化したことが影響している。令和3年度はやはり分母である経常一般財源の金額の増加によって減少している。令和4年度は国民健康保険特別会計への繰出金の増加が要因である。高齢化により後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の増加が予想されることから、長期的に増加していくと思われる。



類似団体内順位 3/46 全国平均 16.0 千葉県平均 13.7

公債費の分析欄
 公債費は類似団体と比較して低い傾向にある。令和3年度は公債費自体も減少しているが、令和元年度よりは大きい金額となっている。分母である経常一般財源の金額の増加により大きく減少した。令和4年度は令和元年度台風災害による災害復旧事業債の償還が開始されたことから増加となった。



類似団体内順位 44/46 全国平均 76.2 千葉県平均 79.0

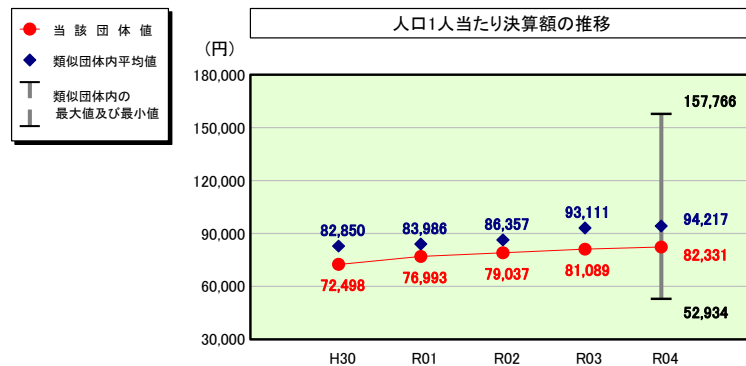
公債費以外の分析欄
 令和元年度をピークに減少傾向が続いていたが、令和4年度は人件費、物件費及び繰出金の増加の影響により状況が変わってきている。類似団体等との差は開きつつある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

千葉県八街市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

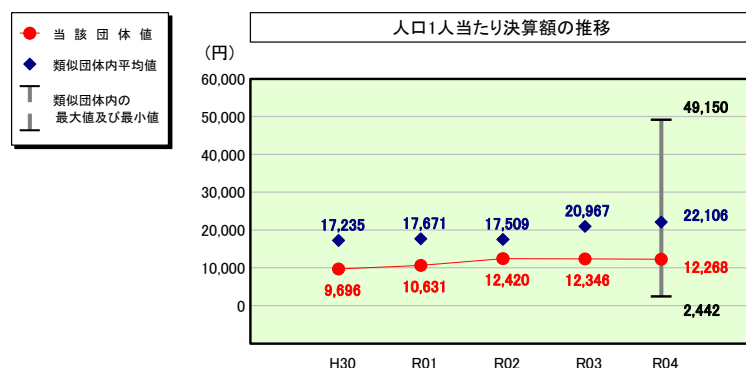
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,280,628	63,515	86,855	▲ 26.9
一部事務組合負担金(補助費等)	990,932	14,703	6,847	▲ 114.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	1,594	24	1,522	▲ 98.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	12	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	252,337	3,744	3,290	▲ 13.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	119,503	1,773	1,835	▲ 3.4
▲退職金	▲ 96,207	▲ 1,427	▲ 6,144	▲ 76.8
合計	5,548,787	82,331	94,217	▲ 12.6

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.46	8.67	▲ 1.21
ラスパイレス指数	99.6	97.8	▲ 1.8

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

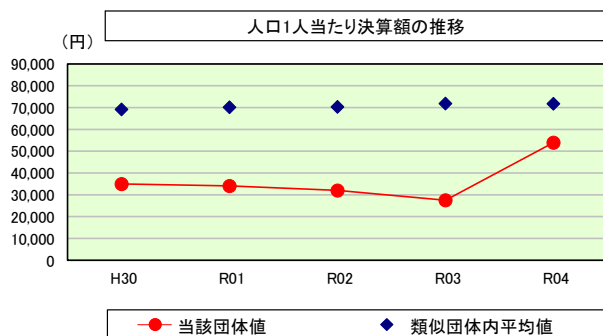


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,903,230	28,240	62,389	▲ 54.7
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	3	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	220,998	3,279	14,672	▲ 77.7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	101,082	1,500	1,817	▲ 17.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	4,228	63	585	▲ 89.2
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 70,277	▲ 1,043	▲ 3,091	▲ 66.3
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,332,466	▲ 19,771	▲ 54,269	▲ 63.6
合計	826,795	12,268	22,106	▲ 44.5

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)
H30	2,462,023	35,000	70.7	69,185	▲ 2.0
うち単独分	940,621	13,372	29.6	38,519	3.0
R01	2,367,274	34,057	▲ 2.7	70,166	▲ 1.4
うち単独分	1,456,859	20,959	56.7	36,115	▲ 6.2
R02	2,209,725	32,077	▲ 5.8	70,329	0.2
うち単独分	1,241,560	18,023	▲ 14.0	39,403	9.1
R03	1,864,221	27,521	▲ 14.2	71,871	2.2
うち単独分	1,093,814	16,147	▲ 10.4	38,232	▲ 3.0
R04	3,636,851	53,962	96.1	71,807	▲ 0.1
うち単独分	1,794,141	26,621	64.9	37,333	▲ 2.4
過去5年間平均	2,508,019	36,523	28.8	70,672	0.3
うち単独分	1,305,399	19,024	25.4	37,920	0.1

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

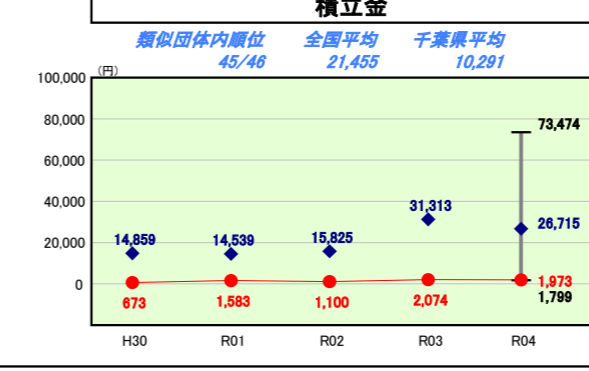
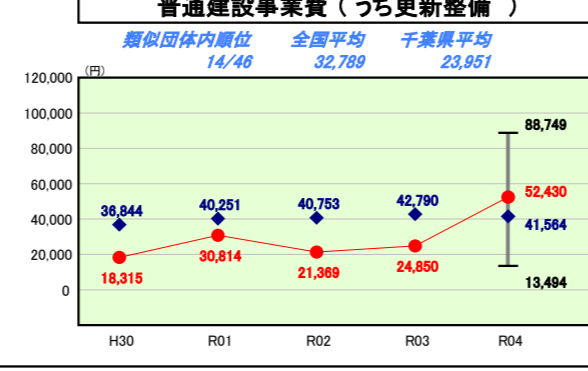
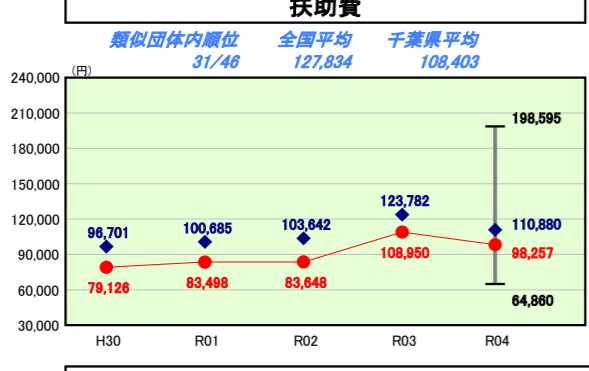
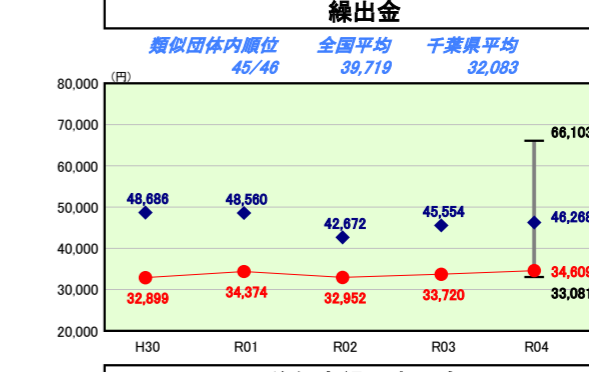
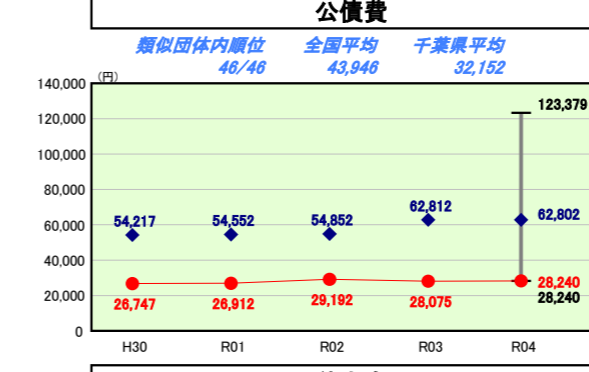
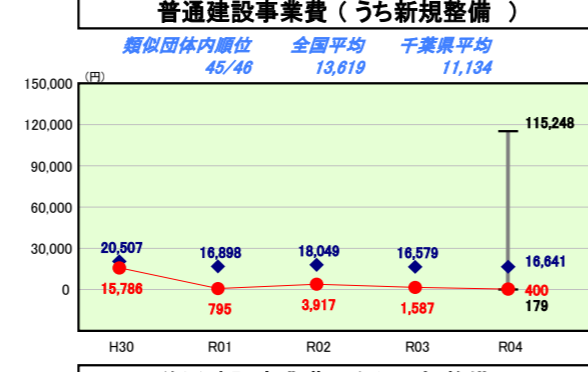
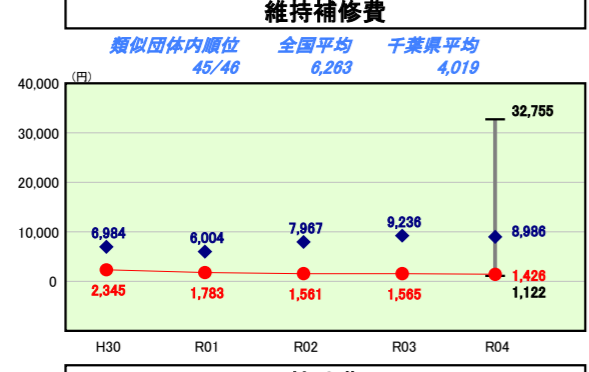
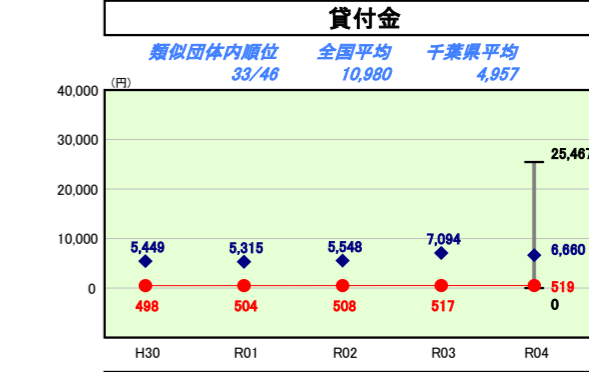
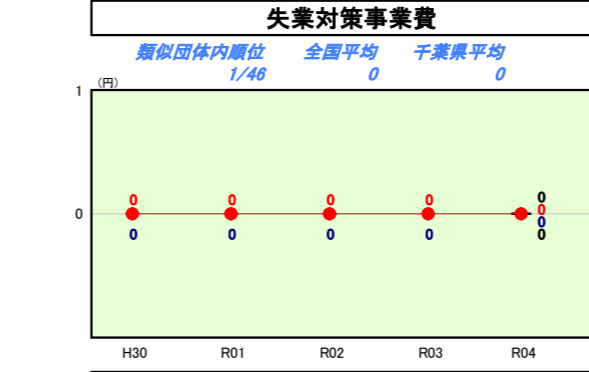
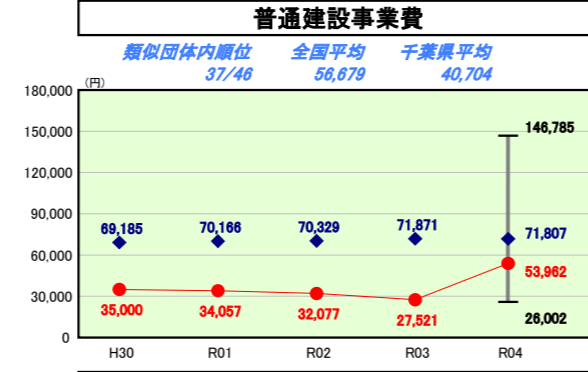
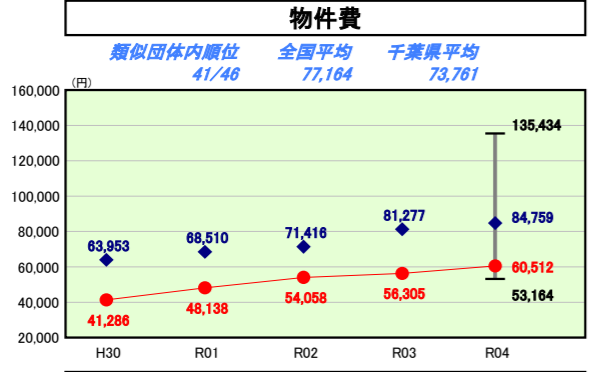
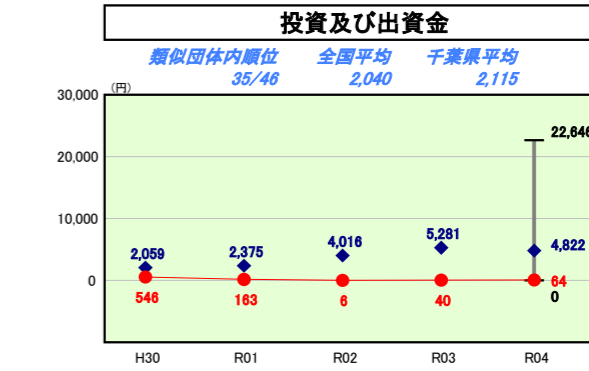
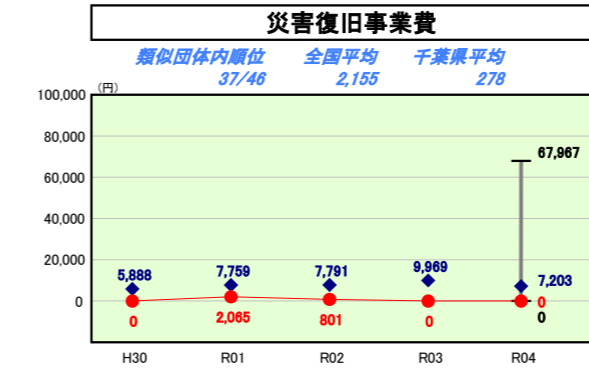
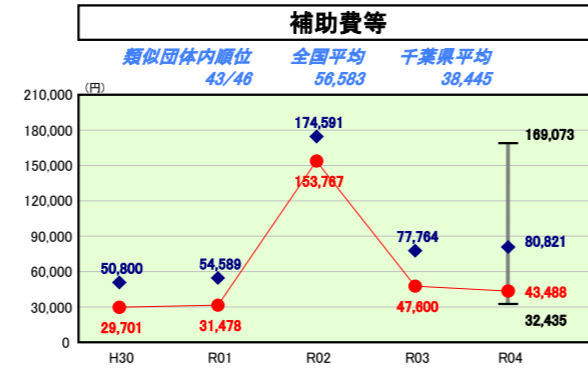
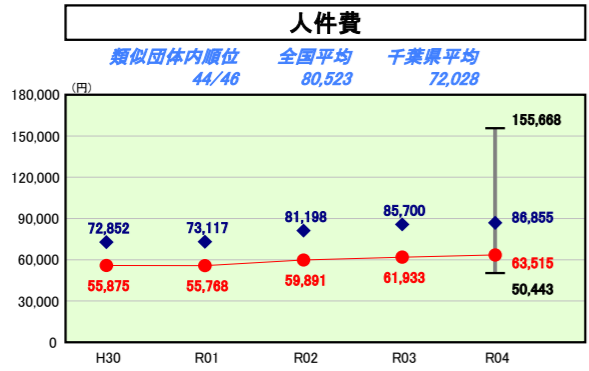
令和4年度

千葉県八街市

人口	67,396人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	64,318人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	74.94km ²	実質公債費比率	6.6%
歳入総額	27,563,627千円	将来負担比率	34.5%
歳出総額	26,052,979千円	市町村類型	H30 II-1 R01 II-1 R02 II-1
実質収支	1,412,931千円	(年度毎)	R03 II-1 R04 II-1
標準財政規模	14,007,914千円		
地方債現在高	18,839,413千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

財政基盤の弱い本市では、歳入に見合った規模の予算を編成した結果、全体的に類似団体より低くなっている。その中で、物件費は一貫して増加傾向にあり、物件費は過去5年で住民一人当たり約19千円増加している。人件費も増加傾向が続いており、過去5年で約8千円の増加となっている。補助費等が令和2年度に大幅に増加しているのは、特別定額給付金事業の影響である。令和4年度普通建設費の増加については、ごみ焼却施設幹線改良工事が主な要因である。この工事は令和5年度まで続くものであり、今後も高い金額となる。減少傾向にあるのは維持補修費及び災害復旧事業である。維持補修費の減少は、設備の老朽化により大きな改修工事が必要となっている影響と思われる。災害復旧事業は令和3年度、令和4年度と0となったが、令和5年度は台風による大雨災害が発生し、増加する見込みである。その他、令和3年度扶助費の増加については、私立認定こども園運営費補助事業費が主な要因で、令和4年度も障がい福祉関連経費により増加傾向が続いている。積立金は今後の施設改修費用の捻出に用いられる公共施設整備基金への積立金の影響により若干増えている。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

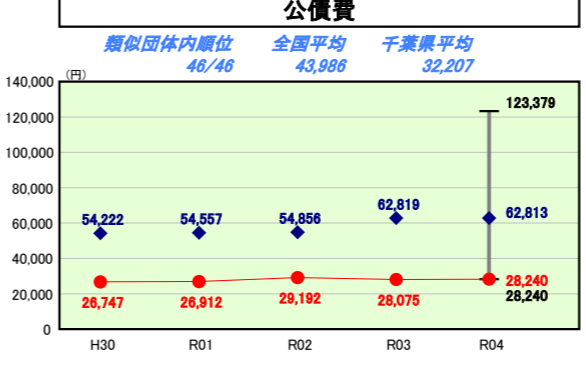
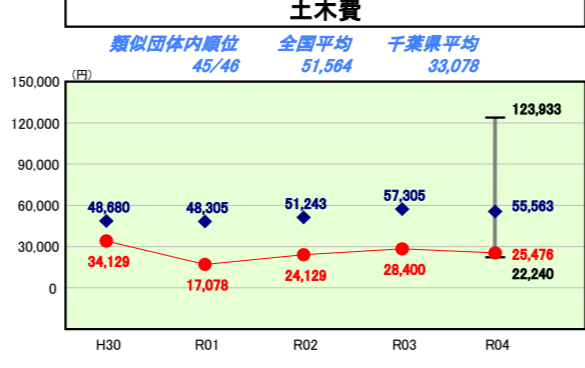
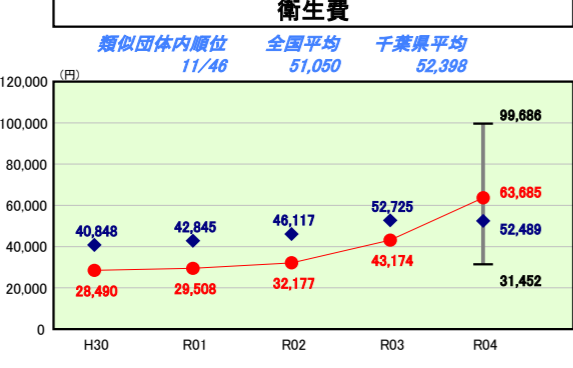
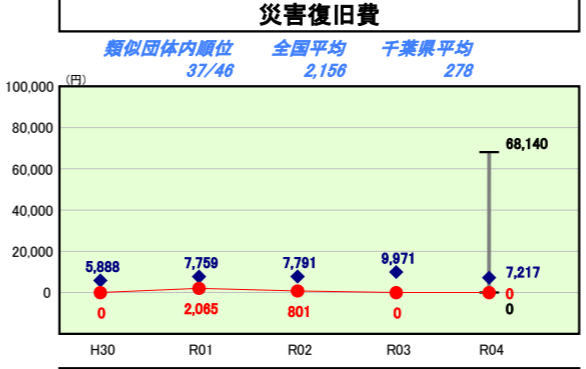
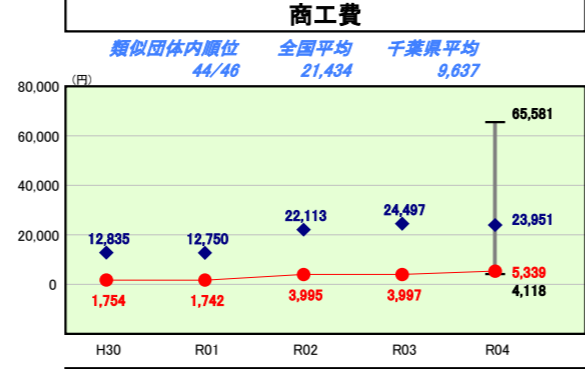
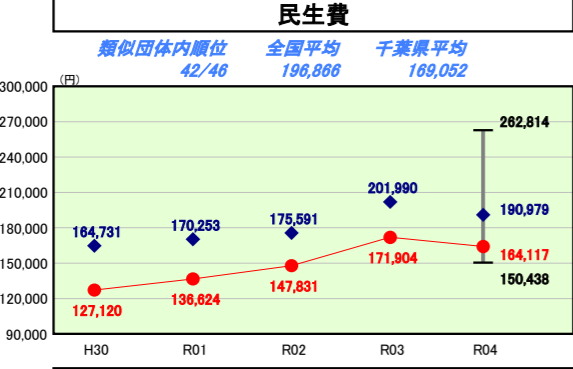
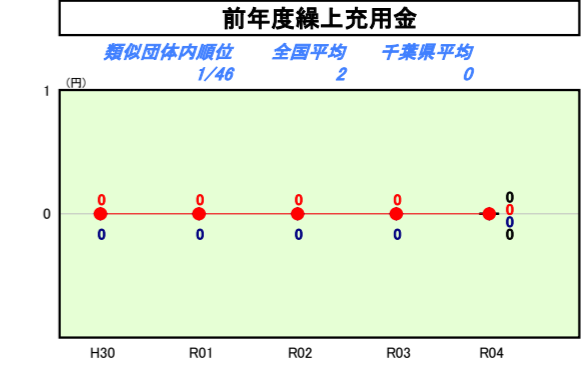
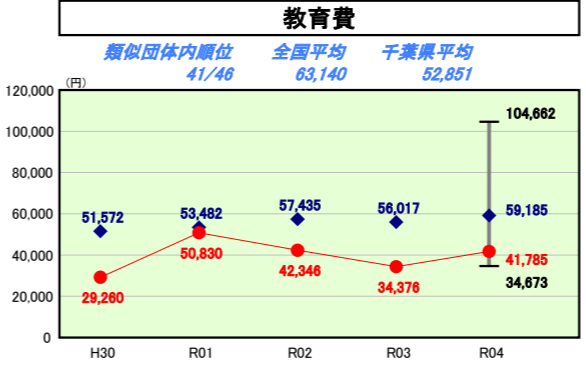
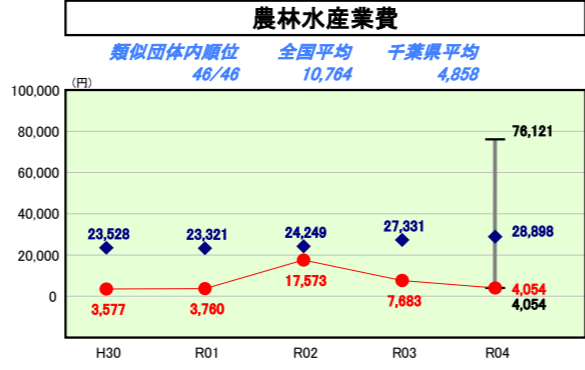
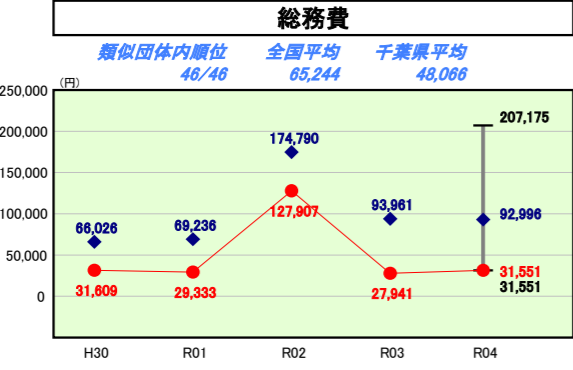
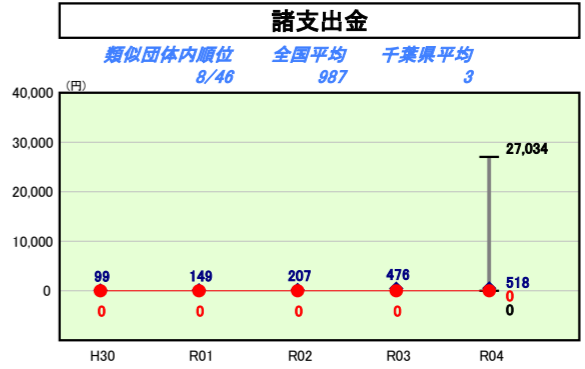
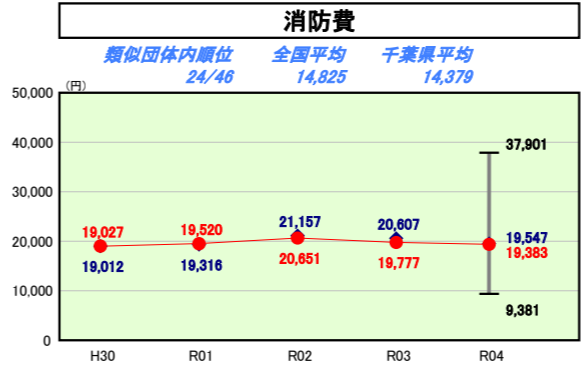
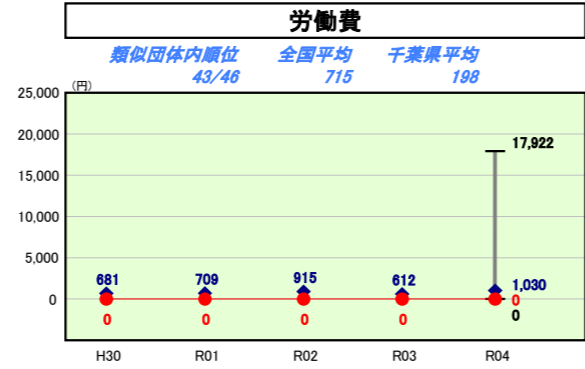
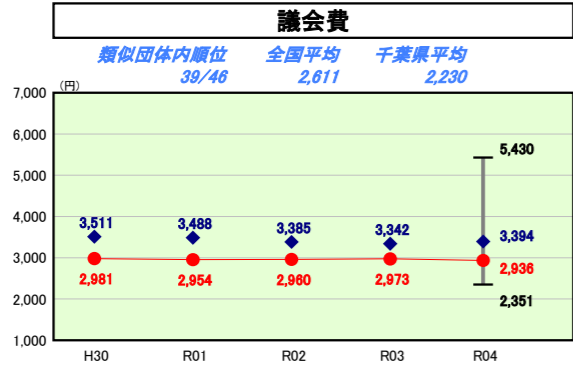
令和4年度

千葉県八街市

人口	67,396 人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	64,318 人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	74.94 km ²	実質公債費比率	6.6 %
歳入総額	27,563,627 千円	将来負担比率	34.5 %
歳出総額	26,052,979 千円	市町村類型	H30 II-1 R01 II-1 R02 II-1
実質収支	1,412,931 千円	(年度毎)	R03 II-1 R04 II-1
標準財政規模	14,007,914 千円		
地方債現在高	18,839,413 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



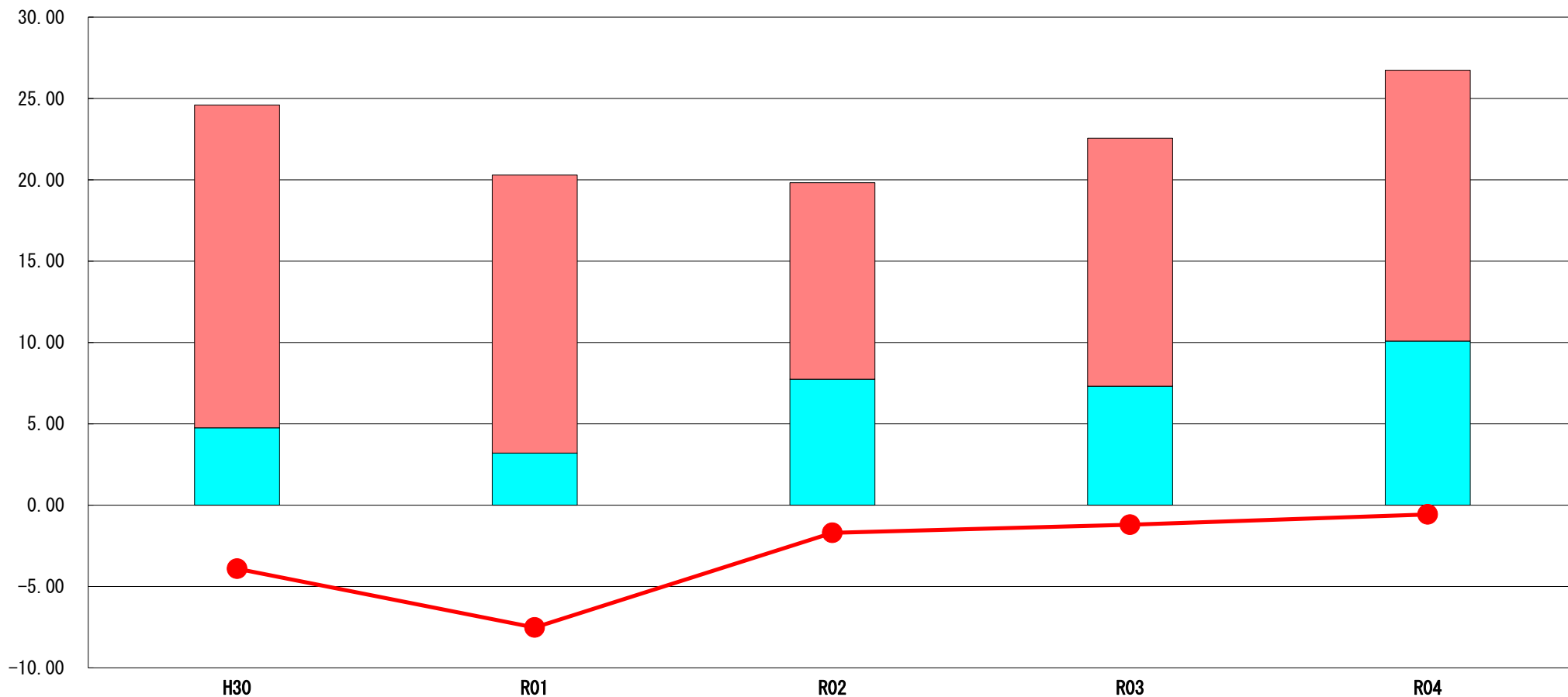
目的別歳出の分析欄
 全体的に類似団体平均より住民一人当たりのコストは低くなっている。消防費に関しては類似団体の平均に近い数値となっている。
 消防費の支出の大半は消防組合への負担金であるため、他の費目より経費を削減する事が困難であることが要因である。衛生費の大幅な増加は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業の、令和4年度はごみ焼却施設基幹改良工事の影響によるものである。
 民生費は過去5年で37千円増加しており、類似団体等との差も小さくなっている。これは新型コロナウイルス感染症に伴う給付金事業の発生、及び扶助費の増加が要因である。教育費は増加に転じたが、これは小中学校の施設改修事業、電子黒板購入事業及び小中学校の光熱費の増加によるものである。土木費は若干の減少となった。これは朝陽小学校児童の交通死亡事故に伴う市内全域の通学路安全対策工事の実施及び歩道整備工事等が完了しつつあることが主な要因である。
 また、令和2年度において、総務費の数値が上がっているのは、特別定額給付金の影響によるもので、農林水産業費の数値の上昇は、令和元年度台風災害による被災農業施設等復旧支援事業補助金が要因である。農林水産業費は災害の影響が落ち着いたことにより令和元年度以前の水準に

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




令和4年度

千葉県八街市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		19.84	17.09	12.08	15.25	16.65
 実質収支額		4.76	3.20	7.74	7.31	10.09
 実質単年度収支		▲ 3.91	▲ 7.52	▲ 1.70	▲ 1.20	▲ 0.57

分析欄

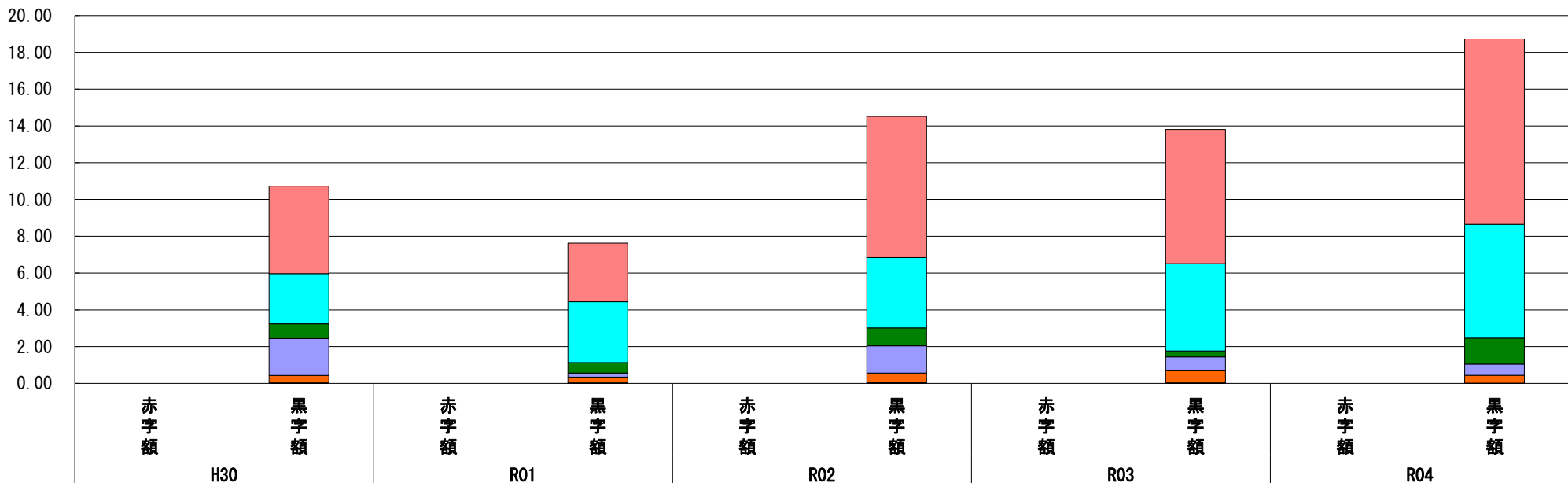
財政調整基金は台風災害の影響により令和元年度、2年度と減少していたが、令和3年度は地方交付税や地方消費税交付金などの一般財源収入が増加したことから増加に転じた。令和4年度はコロナの影響が薄まり、市税及び地方交付税が増加したことにより実質収支が前年より多く発生し、剰余金7億円を積み立てることが出来た。ただ実質単年度収支については、マイナスの状況が続いている。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

千葉県八街市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
一般会計		4.76	3.19	7.67	7.30	10.08
水道事業会計		2.73	3.31	3.82	4.75	6.19
介護保険特別会計		0.80	0.57	0.98	0.32	1.41
国民健康保険特別会計		2.01	0.22	1.48	0.72	0.61
下水道事業会計		0.40	0.31	0.52	0.69	0.43
後期高齢者医療特別会計		0.03	0.03	0.04	0.03	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

令和4年度は一般会計、水道事業会計及び介護保険特別会計が黒字額の増となっている。水道事業会計は流動資産における現金預金の増が続いており、継続して黒字額の増加となっている。介護は基金からの取り崩しの増、積立金の減により黒字額が増加している。国民健康保険特別会計は前年度に続いて黒字額が減少し、後期高齢者医療特別会計は3分の1となっている。下水道事業会計も流動資産における現金預金の減により黒字額の減少となっている。

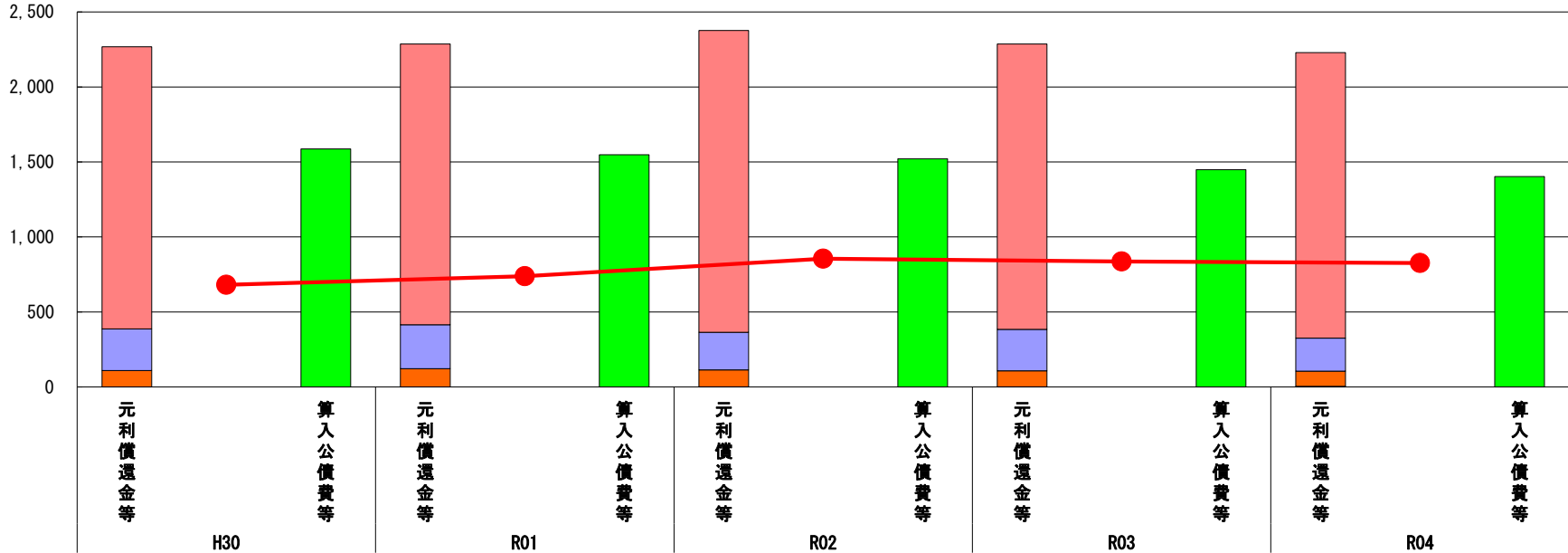
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

千葉県八街市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等(A)	元利償還金		1,881	1,871	2,011	1,902	1,903
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		277	293	251	276	221
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		110	122	113	107	101
	債務負担行為に基づく支出額		0	0	1	1	4
	一時借入金の利子		-	0	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		1,587	1,548	1,521	1,449	1,403
(A)-(B)	実質公債費比率の分子		681	738	855	837	826

分析欄
 実質公債費比率の分子は、平成30年度以降増加傾向にあったが、令和3年度に算入公債費等の減少の一方で、元利償還金がより減少したことにより、減少に転じた。令和4年度も算入公債費等の減少が続き、減少となっている。しかし今後、元利償還金は同程度で推移する一方で、臨時財政対策債借入額の減少により、算入公債費等の減少が予想されることから、実質公債費比率の分子は再度増加に転じる可能性が高く、公債費負担の中長期的な平準化の観点から、適正な起債の活用に努める必要がある。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等(注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高(D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額(E)		-	-	-	-	-

分析欄
 満期一括償還地方債の該当無し

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

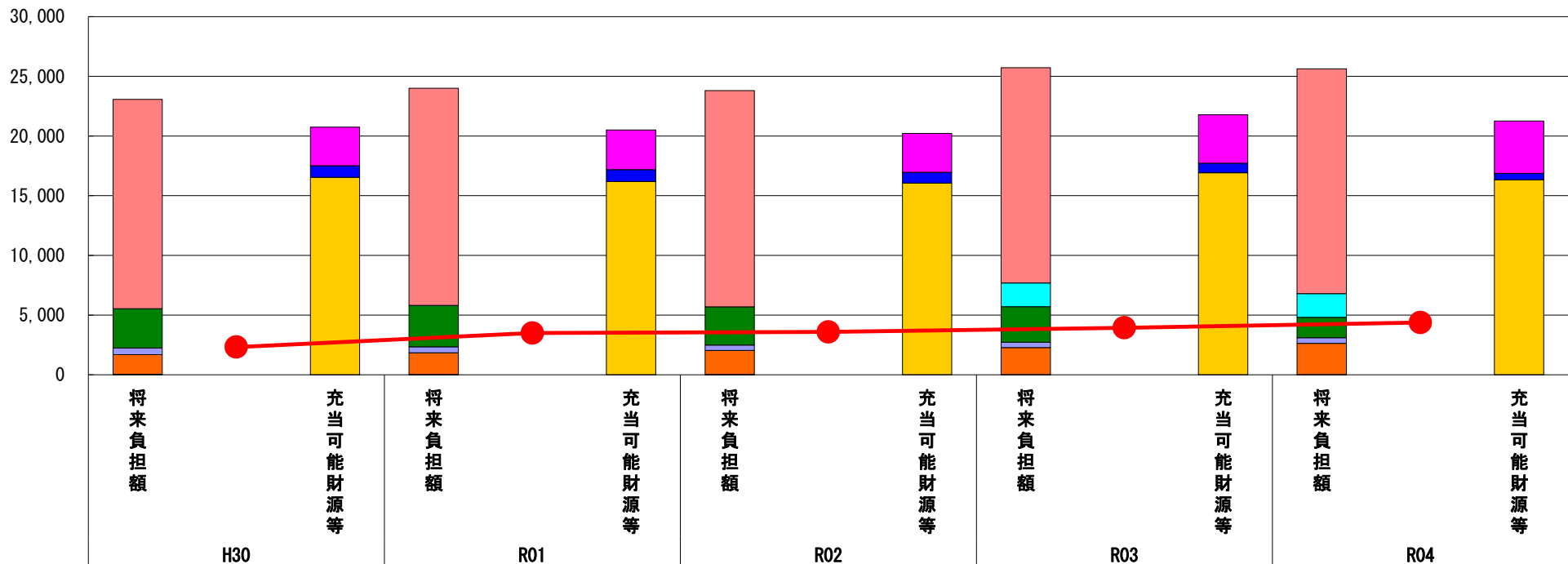
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

千葉県八街市

(百万円)



(百万円)

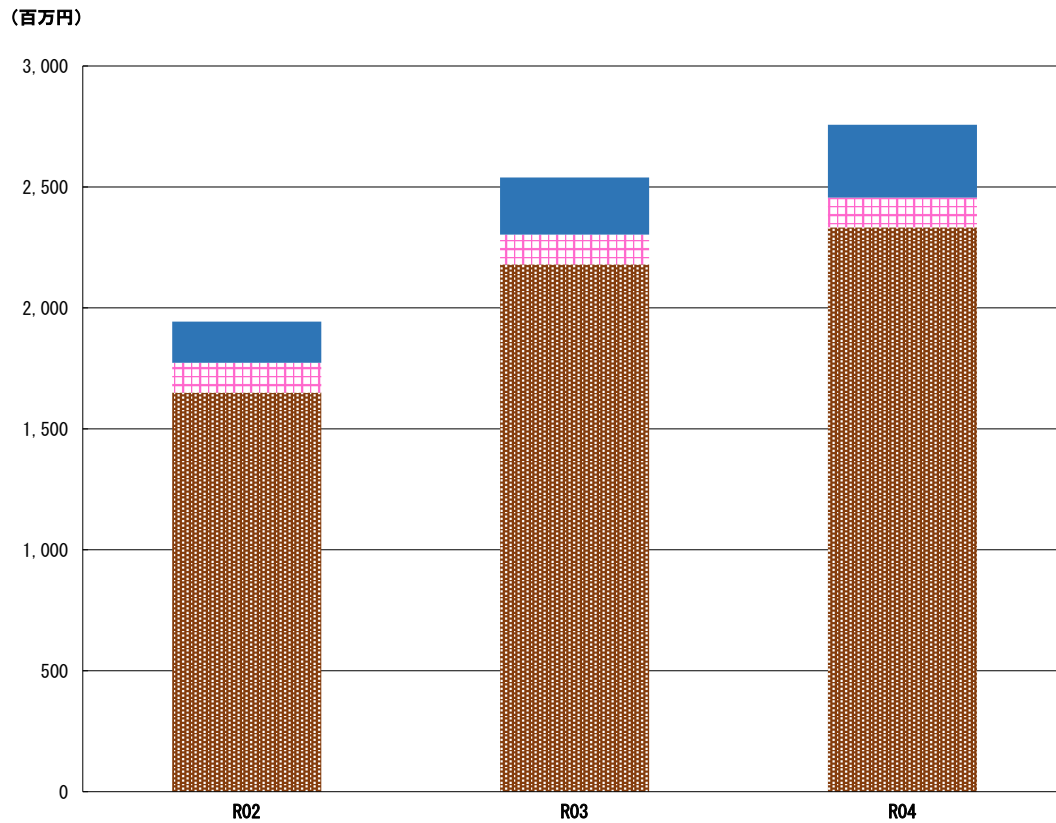
分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		17,532	18,188	18,113	18,027	18,839
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	1,987	1,979
	公営企業債等繰入見込額		3,297	3,473	3,209	2,989	1,711
	組合等負担等見込額		552	499	442	440	470
	退職手当負担見込額		1,640	1,818	2,032	2,268	2,622
	設立法人等の負債額等負担見込額		46	24	14	11	10
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		3,238	3,321	3,262	4,062	4,384
	充当可能特定歳入		968	996	904	806	540
	基準財政需要額算入見込額		16,541	16,187	16,054	16,918	16,331
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,319	3,498	3,591	3,936	4,376

分析欄

将来負担比率の分子は令和元年度より、小中学校空調設備整備事業・災害復旧事業による地方債現在高の増から増加に転じた。令和4年度は交通安全対策道路整備事業による地方債現在高と退職手当負担見込額の増加および公営企業債等繰入見込額の減少によって、将来負担額全体はほぼ横ばい(若干の減少)であったが、臨時財政対策債の基準財政需要額見込額の減少等による充当可能財源等の減少により、将来負担比率の分子は増加となった。今後、ごみ焼却施設基幹改良工事の影響により地方債現在高及び将来負担比率の分子は一時的には増加するが、長期的には臨時財政対策債の借入額の減少により地方債現在高は減少していくことが予想され、将来負担比率の分子も減少に転じると考えられる。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



(百万円)

区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		1,650	2,180	2,333
減債基金		123	123	123
その他特定目的基金		170	236	301
公共施設等整備基金		45	114	174
落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり基金		75	68	69
地域福祉基金		23	23	23
森林環境整備基金		10	13	17
青少年育成基金		10	10	10
基金残高合計		1,942	2,538	2,756

令和4年度

千葉県八街市

基金全体

(増減理由)
財政調整基金及び公共施設等整備基金の増加により基金全体は増加した。

(今後の方針)
令和5年度は繰入額が前年度より大きく増加したことから、財政調整基金及び基金全体額は減少が予想される。公共施設の老朽化に備える必要も有ることから今後は計画的な積み立てを行っていく。

財政調整基金

(増減理由)
令和4年度実質収支額のうち、地方自治法第233条の2の規定に伴い、7億1千万円を繰入した。歳出も前年度より大きく増加したが、市税及び地方交付税の増加により、前年度よりも多く積み立てることが出来、結果として約1億6千万円の増加となった。

(今後の方針)
令和5年度は繰入額が前年度より大きく増加したことから、基金残高は減少すると思われる。財政調整基金の残高は、標準財政規模の2割程度を目標としているが、義務的経費を中心とした歳出の増加により、目標達成はかなり厳しい。まずは一割を切らないよう財政運営を行う。将来的には目標水準まで積み立てが再度なされるよう図っていきたい。

減債基金

(増減理由)
増減はほぼ無し

(今後の方針)
今後の予算編成において、歳入の状況を見ながら、取り崩しを視野に入れた運用を行っていく。

その他特定目的基金

(基金の用途)
落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり基金: 前年度に納入のあったふるさと納税を原資とし、様々なまちづくり事業に充当される。具体的には、土地、道路、交通、交通安全、消防・救急、防災・防犯、健康づくり、福祉、子育て、自然、環境、教育、文化、スポーツ、農業、商工業、協働、コミュニティ育成、市民サービスに対して寄付された方の意向を元に充当される。

公共施設等整備基金: 公用又は公共用に供する施設等の整備、改修及び維持修繕に要する経費の財源に充当される。

森林環境整備基金: 本市が譲与を受ける森林環境譲与税のうち、当年度事業へ充当する分を除いた額を積み立て、翌年度以降の森林環境の整備やその促進に要する経費の財源に充当される。

(増減理由)
公共施設等整備基金は歳計剰余金の1割を目標に積立を行っていく予定となっており、令和4年度においては令和3年度歳計剰余金の1割である6千万円を積み立てたことで増加した。森林環境整備基金も、災害時に倒木する危険性のある森林を事前に伐採する事業である道路安全対策事業費が予定していた事業実施箇所の折り合いが付かなかった為事業の実施が出来ず、積立金が増加した。

(今後の方針)
公共施設等整備基金は公共施設総合管理計画等と連動して取り崩しがなされるが、有利な地方債等を活用する為、増加していくことが見込まれる。落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり基金は、物価高騰によって生活必需品に人気が集まっていたが、徐々に以前の状態へと戻っていることから、再度増加へ転じると思われる。